

事業者向け

放課後等デイサービス 自己評価結果(公表)

事業者 一般社団法人 楽育楽家
事業所名 アイラックやまと

配布2024年2月
公表2024年3月31日

配布数6 回収数6
回答率100%

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	無記入	工夫している点や課題 今後の改善内容・改善目標など
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	1	0	0	グループの最大定員を6名までとさせていただいております。
	2 職員の配置数は適切であるか	5	1	0	0	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	5	0	0	事業所内はすべてフラットな構造となっております。一方、トイレが下足を履いて外廊下を歩いたところがあり、ご不便をおかけしました。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	4	2	0	0	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	2	0	0	評価表は、皆様からのご意見ご要望を伺う大変貴重な機会であると捉えています。今回頂いたご意見は全て今後の法人運営に活かしてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	2	0	0	ホームページにて毎年度公開しております。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	1	4	1	0	第三者評価は受ける機会がございませんでした。
適切な 支援の 提供	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	2	0	0	月1回の勉強会を実施しています。また、外部研修へ参加する場合は、参加費用を法人が負担する等、参加しやすい条件を整えています。
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	0	0	
	10 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	3	0	0	WISCIV・WPPSIⅢ・遠城寺・S-M社会生活能力検査を備え、必要に応じて、あるいはご家族のご希望に応じて、あるいは、お子様の進学の機会などの前に必要性をご説明して、使用しておりました。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	3	0	0	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	3	0	0	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	3	0	0	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	2	0	0	お子さんのニーズに応じて、グループ療育か個別療育のどちらかをご提案させていただいております。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	0	0	朝の全体打ち合わせの他、療育開始前に可能な限り担当スタッフで打ち合わせをしていましたが、職員の体制上難しいこともございました。
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	2	4	0	0	当日、あるいは後日に必ず振り返りを行い、それをもとに次の支援の内容を決定することで支援に継続性を持たせるように心がけていますが、シフトで出勤している非常勤スタッフが参加できないこともあり、そういったスタッフについては個々に記録を見返しての振り返りとなることもございました。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	2	0	0	記録管理担当者が、毎月記録の集計を行い、未記入の記録については当該スタッフに伝え、記録完了まで確認しておりました。
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	3	3	0	0		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	3	3	0	0		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	2	0	0	必ず児童発達支援管理責任者が参画しておりました。	

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	2	2	2	0	送迎をしていないので、下校時刻等の確認を学校とすることはありませんが、行事等は保護者を通じて確認をしていました。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	—	—	—	—	これまで、医療的ケア児の受け入れはありませんでした。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	2	1	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	4	0	0	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	2	1	0	必要に応じて各市の児童発達支援センターと連絡を取り、助言を受けるようにしてました。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	6	0	ニーズそのものの低さや社会情勢もあり、積極的には機会を作っておりませんでした。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	2	2	0	大和市放課後等デイサービス事業所連絡会の交流会に毎回必ず参加させていただき、情報交換をさせていただいてました。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	2	0	0	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	5	0	0	日々の療育の中で、保護者の方の子育て相談に応じさせていただいている他、月1回の保護者の方向けの勉強会を実施しております。一方、「ペアレント・トレーニング」と銘打ったプログラムは実施しておりません。今後の法人運営の中で検討してまいります。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	2	0	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	2	4	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3	1	0	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	2	0	0	伝えていただいた内容を大切に、必ず迅速に対応するようにしてました。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	2	0	0	毎月、法人全体でアイラック通信という会報を発行しています。また、日々の療育の様子やご連絡等は必要に応じてLINEにて、個別に配信しています。
	35	個人情報に十分注意しているか	5	1	0	0	
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	2	0	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	2	0	ニーズそのものの低さや社会情勢もあり、積極的には機会を作っておりませんでした。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	3	0	0	
39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	2	3	1	0		

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	2	0	0	3月に虐待防止のための研修を全職員対象として実施しました。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	2	0	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	1	0	0	アレルギーとなる食品については、保護者の方からのご報告をもとに一覧表にして管理をしていました。状況に変化が生じた際には基本情報変更届をご提出いただき、お子さまの最新の情報について把握させていただいていました。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	0	0	0	

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。